

わんぽいんとアドバイス

普段何気なく使っている複合機。ちょっとしたことでトラブルが防げて、快適にお使いいただけます。お使いになる前にご覧ください。


用紙をセットするときは用紙ガイドを確認！

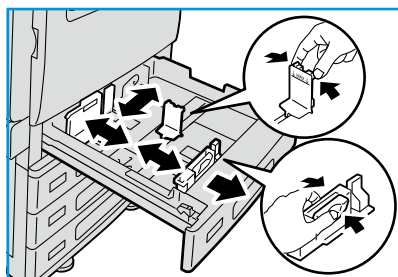
用紙トレイ 1～4 に用紙をセットするときは、次のようにしてください。

- 1 用紙トレイを、手前に止まるところまで引き出します。

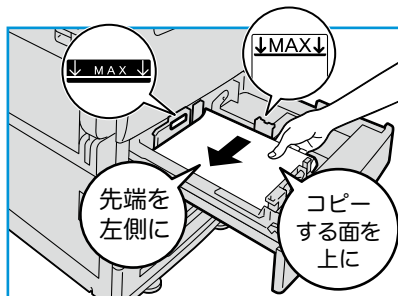
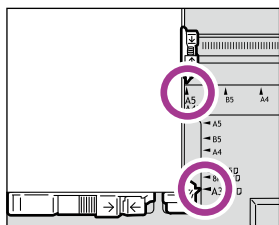
ガイドをきちんと合わせてね！

- 2 用紙ガイドが、セットする用紙サイズに合っているか確認してください。

 用紙サイズを変えるときや、用紙ガイドがずれているときは、2か所の用紙ガイドレバーをつまみながら、セットする用紙サイズに合わせてください。用紙ガイドはきちんと合わせてください。



- 3 コピー、またはプリントする面を上にして、用紙の先端を左側にそろえてセットします。



- 4 奥に突き当たるまで、用紙トレイを **ゆっくりと** 押し込みます。

⇒ こんなトラブルが防げます

- トレイが操作パネルのディスプレイに表示されない
- 用紙サイズが正しく表示されない
- プリント、コピーができない
- 端のほうでプリントされない
- 斜めにプリントされる
- 紙にしわができる
- 機械の左側でバリバリ音がする
- 用紙が機械の奥に落ちて詰まってしまう

用紙の種類を正しく設定していますか？

はがき、厚紙などの普通紙以外の用紙を使う場合、用紙トレイ 1～4 と用紙トレイ 5 (手差し) どちらにもセットできます。各トレイの用紙種類は通常「普通紙」が設定されています。用紙を変更したら、用紙種類も変更してください。

 **厚紙のめやす**

厚紙 1 普通紙より厚くはがきより薄い
厚紙 2 はがき **厚紙 3** はがきより厚い

はがきより厚い用紙 (厚紙 3) は、用紙トレイ 1～4 にセットしてください。

用紙トレイ 1～4 にセットしたときは

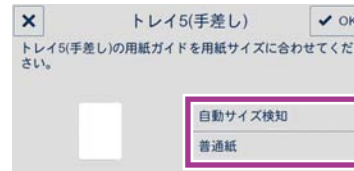
操作パネルの認証情報表示エリアをタップして機械管理者モードに入り、[設定]>[用紙トレイ]で任意のトレイを選択し、用紙種類を設定します。



用紙トレイ 5 (手差し) にセットしたときは

● コピーするとき

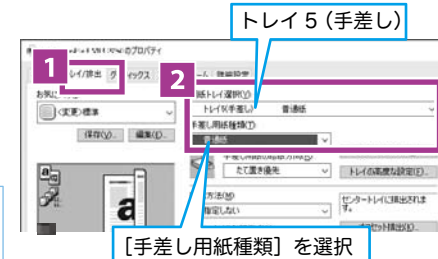
表示される画面で用紙サイズと用紙種類を設定します。



上の画面が表示されないときは、メニューから [用紙選択] > [自動サイズ検知] を選択してください。

● コンピューターからプリントするとき

プリンタードライバーの [トレイ / 排出] タブで、[手差し用紙種類] を選択します。

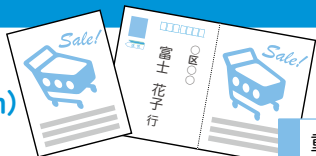


⇒ こんなトラブルが防げます

- 用紙をこすると汚れる

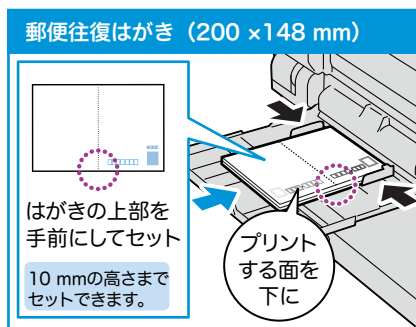
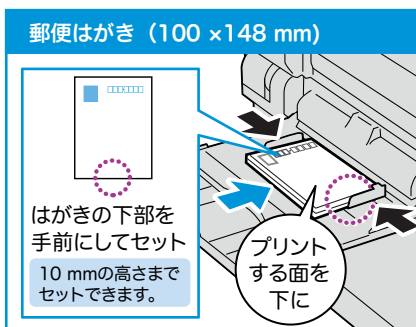
郵便はがきやラベルにプリントするときは

郵便はがき (100 × 148 mm)
郵便往復はがき (200 × 148 mm)

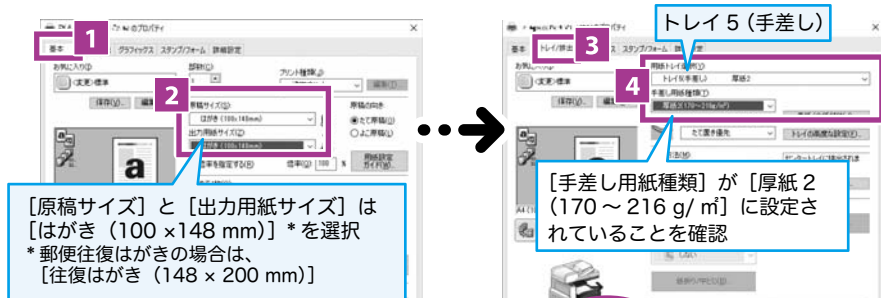


重送が防げます！
はがきは正しい向きで
セットしてください。

1 用紙トレイ 5 (手差し) にセットします。



2 プリントを指示して、プロパティ画面で設定します。



さらに
詳しく！

こんなトラブルが防げます

- 用紙をこすると汚れる
- 紙づまり
- はがきの重送



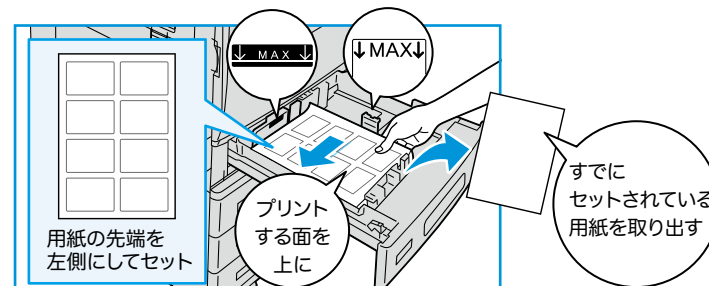
ラベル用紙 (宛名用ラベル)



次のラベルは使用しないでください。

- 一度使用したもの
(一部のラベルをはがしたもの)
- 購入時期が古いもの (未使用含む)

1 用紙トレイ 1 ~ 4 の任意のトレイに、ラベル用紙をセットします。



2 操作パネルの認証情報表示エリアをタップして機械管理者モードに入り、[設定] > [用紙トレイ] で任意のトレイを選択し、用紙種類に [ラベル紙 1] または [ラベル紙 2] を設定します。



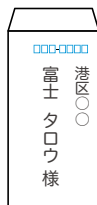
3 プリントを指示して、プロパティ画面で設定します。



こんなトラブルが防げます

- 用紙をこすると汚れる
- 紙づまりや機械内部でラベルがはがれることによる故障

定形サイズの封筒にプリントするときは

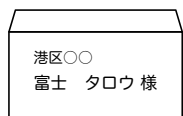


和封筒

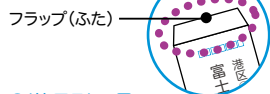
- 長形3号 (120 × 235 mm)
- 長形4号 (90 × 205 mm)
- 角形2号 (240 × 332 mm)
- 角形6号 (162 × 229 mm)
- 角形20号 (229 × 324 mm)

短辺にフラップがある封筒

洋封筒



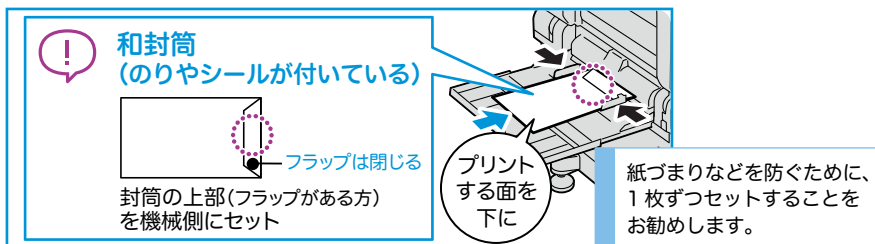
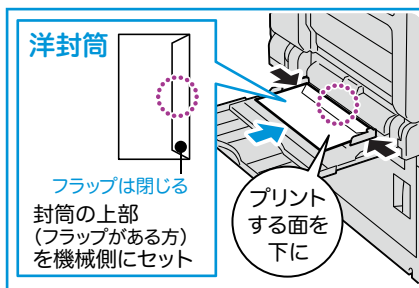
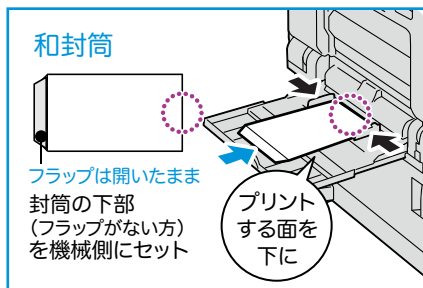
長辺にフラップがある封筒



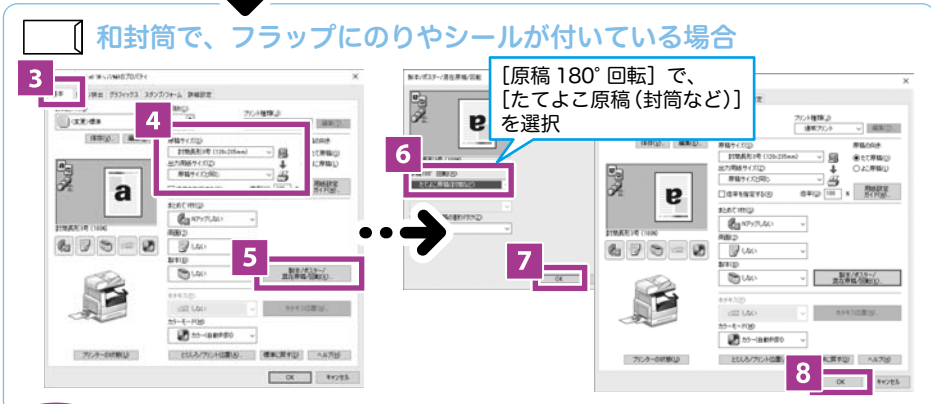
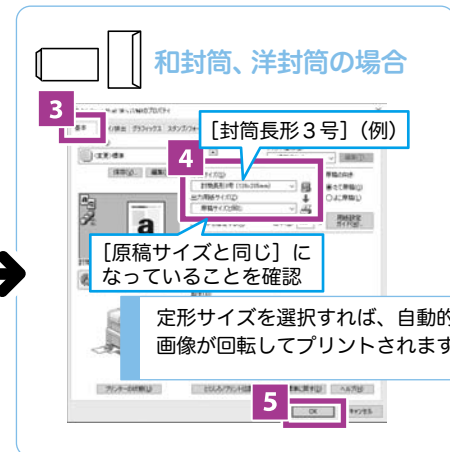
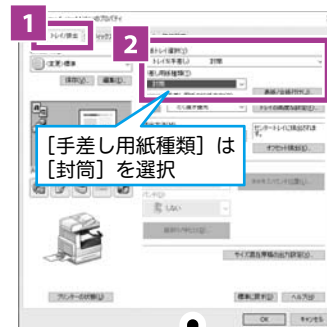
- 洋長形3号 (120 × 235 mm) *

*: プリンタードライバーでは【長形3号【洋】】

1 封筒を、用紙トレイ5（手差し）にセットします。



2 プリントを指示して、プロパティ画面で設定します。



⇒ こんなトラブルが防げます

- 上下左右逆にプリントされる
- 紙づまり

さらに詳しく!



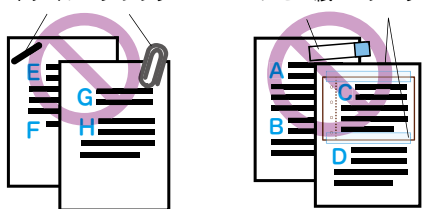
非定形サイズの封筒にプリントするときは



原稿送り装置を使うときは

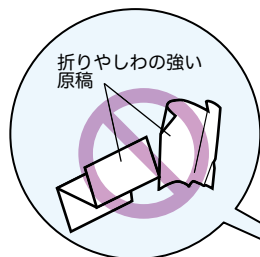
- 1 原稿送り装置に原稿をセットする前に、原稿にホチキスやクリップ、フセン紙やテープなどがついていないか確認します。

ホチキス クリップ フセン紙 テープ



フセン紙やテープをはがしたくないときは、原稿ガラスを使います。

- 2 コピーする面を上に向けてセットし、原稿ガイドを原稿の両側に合わせます。



三角形の原稿検知部で原稿サイズを検知します。折りやしわが入っている原稿をセットした場合は、原稿が原稿検知部に接触しないと、正しくサイズを検知できないことがあります。

原稿受けストッパーを開くと、原稿が落ちるのを防げます。

ガイドで原稿サイズを検知します。原稿とガイドの間にすき間がないか、両側を確認してください。

原稿ガイドをきちんと合わせる

コピーする面を上

原稿受けストッパー

⇒ こんなトラブルが防げます

- A4の原稿なのに操作パネルの画面に『8.5"にセットされています』と表示される
- コピーの端の画像が欠ける ■ コピーの端に黒い線が入る ■ 原稿送り装置での原稿づまり
- フセン紙、テープなどが原稿送り装置内に残り、原稿づまりエラーが消えない

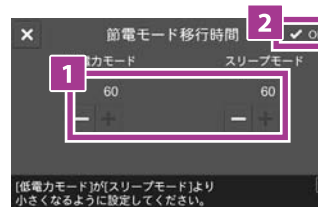
プリント開始までの時間を短くしたい

複合機をこまめに急ぎで利用する場合などは、低電力モードやスリープモードに移行するまでの時間を長く設定することで、コピーやプリントを開始するまでの待ち時間を短縮できます。

- 1 機械管理者モードに入り、[設定]>[システム設定]>[節電モードの設定]>[節電モード移行時間]をタップします。



- 2 [低電力モード]と[スリープモード]の値を長めに設定して、[OK]をタップします。



[低電力モード]:最後の操作から低電力モードに移行するまでの時間を設定します。
[スリープモード]:最後の操作からスリープモードに移行するまでの時間を設定します。

延長対象	待ち時間短縮	電気代増分目安 (1日分) [標準電気料金: 27円/kWh]
低電力モード移行時間	最大約 7 秒	約 0.017 円 × 延長時間 (分) × 1 日のモード移行回数
スリープモード移行時間	最大約 11 秒	約 0.042 円 × 延長時間 (分) × 1 日のモード移行回数

